

■ 消 防 ■

消
防

消 防

1. 消防力の現勢

(1) 消防機関関係保有台数

(令和4年4月1日現在)

区 分	はしご車	救 助 工作車	化学車	水槽車	ポンプ車 (内水槽付)	救急車	広 報 査察車	その他	計
現有数	2	1	1	1	12(3)	5	2	10	34

(2) 消防職員

(令和4年4月1日現在)

階級 人員	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他の 職員	計
定 員	← 113 →								113
現在員	1	3	20	33	20		29		106

(3) 消防団員数

(令和4年4月1日現在)

階級 人員	団 長	副団長	分団長	副 団 分 長	部 長	班 長	団 員	計
定 員	← 200 →							200
実 員	1	3	8	7	28	42	79	168

2. 消防水利状況

(令和4年4月1日現在)

消 火 栓	公設	1,450 基
	私設	60 基

防 水 火 槽	公設	57 基
	私設	64 基

その他の水利

(令和4年4月1日現在)

河 川	池	プ ー ル	泉 水
3	4	18	1

3. 火災及び救急活動の状況

(1) 火災発生件数

(各年1月1日～12月31日)

種別 年次	火 災 件 数					焼 損 面 積	損 害 額
	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	その他 の火災	計		
H30	20 件	1 件	0 件	4 件	25 件	建物 床面積 454 m ² 表面積 34 m ² 林野 0 a	39,115 千円
R1	12 件	0 件	2 件	2 件	16 件	建物 床面積 118 m ² 表面積 0 m ² 林野 0 a	19,326 千円
R2	5 件	0 件	2 件	3 件	10 件	建物 床面積 159 m ² 表面積 2 m ² 林野 0 a	6,671 千円
R3	15 件	0 件	2 件	2 件	19 件	建物 床面積 55 m ² 表面積 9 m ² 林野 0 a	12,253 千円

(2) 原因別火災発生状況

(各年1月1日～12月31日)

原因 年次	総 数 (件数)	たばこ	こんろ	炉	ストーブ	電気 機器	電気 装置	電灯電話 等の配線	配線 器具
H30	25	2	6	—	2	3	—	1	—
R1	16	2	—	1	1	—	—	2	2
R2	10	—	2	—	—	1	—	—	—
R3	19	—	7	—	—	1	1	1	—

マッチ ライター	たき火	溶接機 切断機	灯火	衝突の 火花	火入れ	放火	放火の 疑い	その他	不明
—	—	—	—	—	—	—	2	6	3
1	1	—	—	—	—	—	—	3	3
—	—	—	—	1	1	1	1	1	2
—	1	2	1	1	—	2	—	—	2

(3) 救急出場状況

(各年 1 月 1 日～12 月 31 日)

種別 年次	出 場 件 数	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他	搬 送 人 員
H30	6,030	15	2	0	384	35	31	1,131	28	33	3,831	540	5,441
R1	6,057	9	0	2	410	31	22	1,055	33	46	3,940	509	5,492
R2	5,609	6	0	0	384	30	17	1,082	25	45	3,504	516	5,014
R3	5,522	7	0	0	393	25	22	983	17	70	3,546	459	5,039

4. 消防団員報酬

(1) 年額報酬

(令和 4 年 4 月 1 日現在)

区分 内訳	団 長	副団長	分団長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
年額報酬 (円)	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500

(2) 出動報酬

(令和 4 年 4 月 1 日現在)

出動の種類	単位	出動報酬の額
水火災、地震等の災害による出動	1 回につき 4 時間までごと	4,000 円
訓練及び警戒による出動	1 回につき	2,600 円
消防団事務運営等の会議出席	1 回につき	2,200 円
消防機械の整備	消防車 1 台につき	月額 2,700 円

備考

- 1 水火災、地震等の災害による出動について、上表に定める単位により 1 回の出動の時間を 4 時間までごとに区分したそのそれぞれに係る出動報酬は、その区分の起点とな

る時刻の属する日の分として算出する。

- 2 警戒のうち年末警戒については、その出動が翌日まで引き続いたときは、2 回出動したものとみなす。
- 3 消防機械の整備に係る出動報酬の支給は、その担当者による場合に限る。

5. 防火対象物の現況

(令和4年4月1日現在)

用 途			防火対象物の種類	防火対象物数
特定防火対象物	(一) 項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	
		ロ	公会堂、集会場	55
	(二) 項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	
		ロ	遊技場又はダンスホール	2
		ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗その他これに類するもの	
		ニ	カラオケボックス、個室形態の業務を営む店舗で総務省令で定めるもの	1
	(三) 項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	
		ロ	飲食店	49
	(四) 項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	67
	(五) 項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所その他これらに類するもの	11
	(六) 項	イ	病院、診療所又は助産所	18
		ロ	自力避難困難者が入所している社会福祉施設等	51
		ハ	(六) 項ロを除く社会福祉施設等	44
		ニ	幼稚園又は特別支援学校	9
	(九) 項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの	
	(十六) 項	イ	複合用途防火対象物のうち、一部が特定防火対象物の用途であるもの	423
小 計				730
非特定防火対象物	(五) 項	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	1,521
	(七) 項		小学校、中学校、高等学校、大学、各種専門学校その他これらに類するもの	75
	(八) 項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	8
	(九) 項	ロ	(九) 項イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	4
	(十) 項		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	
	(十一) 項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	56
	(十二) 項	イ	工場又は作業場	103
		ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
	(十三) 項	イ	自動車車庫又は駐車場	65
		ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	1
	(十四) 項		倉庫	78
	(十五) 項		(一) 項から(十四) 項に該当しない事業場	261
	(十六) 項	ロ	(十六) 項イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	169
	(十七) 項		重要文化財等の建造物	2
	(十八) 項		延長50メートル以上のアーケード	3
小 計				2,346
合 計				3,076

備考：防火対象物数は延面積 150 ㎡以上の防火対象物とする。〔(十七) 項、(十八) 項を除く。〕

6. 危険物施設の現況

(令和4年4月1日現在)

政 令 施 設							条例 施設	合 計
貯 蔵 所				取 扱 所		小 計	少 量 危 険 物 貯 蔵 ・ 取 扱 場	
屋 内 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所			
30	3	29	12	20	20	114	150	264

7. 中高層建築物（4階以上）の現況

(令和4年4月1日現在)

階 層 別	棟 数
4 階 建	321
5 階 建	235
6 階 建	156
7 階 建	22
8 階 建	15
9 階 建	12
10 階 建	11
11 階 建	7
12 階 建	4
13 階 建	4
14 階 建	5
15 階 建	4
合 計	796